

企業も成長するインターンシップ 活用してみませんか？

インターンシップとは？企業にどんなメリットがあるの？

- ✓ インターンシップとは、学生が企業等において就業体験を行うことです。インターンシップを上手に活用することで、学生のみならず**企業にも様々なメリットがあります。**
- ✓ インターンシップには様々なタイプがあります！**インターンシップに取り組む目的や得られる効果などを整理した上で、インターンシップを実施することが重要**です。

類型	① 業務体験型	② 課題解決型	③ 事業創造型
概要	学生は従業員に教わりながら、企業の通常業務を体験する。	企業や地域が抱える課題に対して、学生自らが調査や提案を行い、課題を解決する。	学生が企業の新規事業や社内変革プロジェクトに参画し、事業創造の取組を体験する。
期間	5日間～2週間程度	2週間～1ヶ月程度	2週間～半年程度
企業の効果(例)	<ul style="list-style-type: none"> • 自社の業務や商品等に対して学生が持つイメージを把握できる • 学生への指導は若手従業員の成長機会につながる 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者ならではの発想を活用して課題解決へのヒントが得られる可能性がある • 学生が長期間活動することによる組織の活性化 • 意欲的な学生と出会える 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者ならではの発想を活用して新規事業等を推進できる可能性がある • 学生が長期間活動することによる組織の活性化 • 意欲的な学生と出会える
事例	株式会社アクシス	株式会社赤坂ホンダ	有限会社大橋量器

※ワークショップ等により、業界や自社について学生が総合的に理解することを目指す取組を行っている企業も多くあります。**また、業界や地場産業に対する学生の理解を深めるため、数日間に複数社で実施するケースもあります。**<仕事理解型>

メリットは分かっているけれど・・・あなたの企業では、こんなことになっていませんか？

業務が多忙で、インターンシップを受け入れる余裕はない・・・

インターンシップを実施しようとしても現場の社員が乗り気じゃない・・・

インターンシップを募集しても学生からの応募がない・・・

人手不足のせいで、結局、インターン生にも社員やアルバイトと同じような仕事をお願いしている・・・

当社のインターンシップに対する学生の満足度はイマイチで人材確保につながらない・・・



どのような取組事例があるの？

事例① <業務体験型>

(株)アクセシ／鳥取県／期間：10日／事業内容：システム開発、ITスクール事業等
地域企業への関心が高まり、2年連続、インターン生が内定・入社！



インターンシップ受入の目的

- 地域のIT人材の育成
- 学生にとって為になる学びの場の提供
- 従業員の人材育成

インターン生の主な活動

- 子ども向けプログラミングスクールの企画立案、教材作成、授業実施

インターンシップの成果

- 実施内容を「プログラミング勉強会」から「事業の企画・運営」へ変更して以降、**参加学生が入社**するようになった！

事例② <課題解決型>

(株)赤坂ホンダ／長野県／期間：1～3ヶ月／事業内容：自動車ディーラー、自転車修理等
インターン生の活動から、地域住民が活用できる新たな自転車共有の仕組みが誕生！



インターンシップ受入の目的

- 町内で0軒となった自転車の修理店を復活させるにあたり、学生のアイデアにより、付加価値となるサービスの検討を期待

インターン生の主な活動

- 地域内を自転車で回ったり、経営者と意見交換をし、地域住民が自転車をシェアできる仕組み(サイクルバンク)を考案し、シェアする自転車も収集

インターンシップの成果

- **サイクルバンク**の仕組みが**誕生！地域貢献**という企業理念にも合致！
- **学生の発想や行動力から経営者や従業員が大きな刺激を受けた！**

事例③ <事業創造型>

(有)大橋量器／岐阜県／期間：1か月／事業内容：木製枡等の製造、販売等
インターン生が木製枡と生花を使ったブライダル向け商品を開発し、販路開拓を実現！



インターンシップ受入の目的

- 学生による企業活性化
- 新商品や既存商品の販売ニーズのリサーチ

インターン生の主な活動

- 花屋60件へアポ取り、20件へヒアリング
- ヒアリングを踏まえた新商品開発やその商品のリサーチマーケティング、営業活動を実施

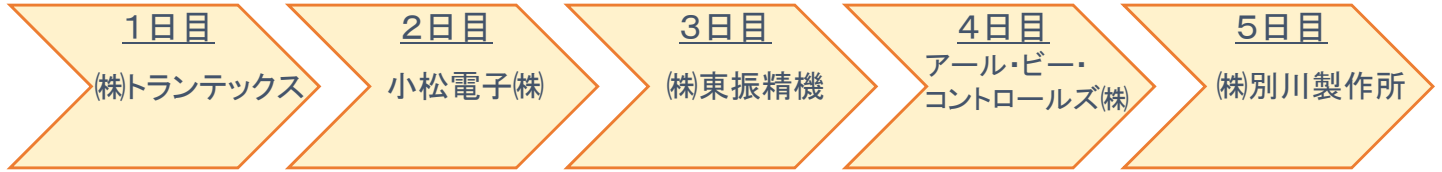
インターンシップの成果

- 学生が**新商品を開発し、5件の新規契約**を獲得！
- **学生の口コミで、インターン参加希望者や若年求職者が増加！**

事例〈仕事理解型〉

5社連携インターンシップ／石川県／期間：5日間

複数社でインターンシップを実施し、学生の地域企業・業界に対する理解を促進！



インターンシップ受入の目的

- 県内のものづくり企業に関する周知・理解促進

インターン生の主な活動

- 連続する5日間の中で、1日1社ずつインターンシップを実施

インターンシップの成果

- 1回のインターンシップへの参加で複数社を知ることができ、**学生の業界や地場産業に対する理解・関心を高められた！**

インターンシップを成功させるための主なポイント

※特に「課題解決型」、「事業創造型」

事前準備

「なぜインターンシップへ取り組むのか」を明確にして社内共有

「会社の現状を踏まえ、将来実現したい姿を達成するために、今、何をすればよいか」という視点からプロジェクトを設計



目的を共有

学生の募集と選考



“共感”により募集

「当社で経験できるプロジェクトの内容」をアピールして、共感する学生を募集

選考を実施することで、双方がミスマッチを減らし、納得の上で参加を決定

インターンシップの実施

学生の成長＝組織や事業の成長！
学生が壁にぶつかったときは適宜、助言やフォロー

学生が抱えている問題を早期発見するため、日報・週報等の提出は有効



丁寧なコミュニケーションとフォロー

インターンシップ修了以降の対応



成果報告の機会を作り、社員からフィードバックを行うことで、企業・学生の双方が気づきを獲得

フィードバックによる学び

さらにインターンシップについて知りたい方は・・・

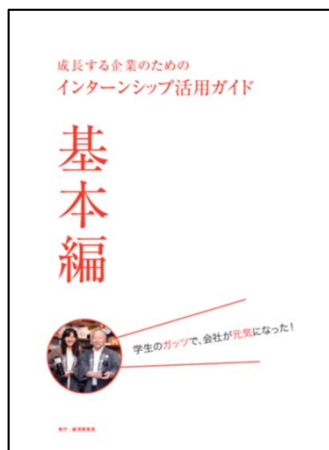
地方創生インターンシップポータルサイト

地方創生インターンシップポータルサイトでは、地域でインターンシップを行う意義について広く御理解いただくため、地域でのインターンシップ参加学生や受入企業の方々へのインタビュー等を盛り込んだ動画を公開しています。

また、道府県によってはインターンシップに関するサイトを構築している場合があり、受入れ可能な企業を紹介している場合があります。これらの情報も内閣官房のポータルサイトで紹介していますので、御関心のある方はぜひ御覧ください！



地方創生インターンシップポータルサイト
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/internship/>



成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド

これからインターンシップを実施する企業の方向けに、「どのようにインターンシップを設計すればよいか」ヒントが紹介されています。こちらもぜひ御確認ください！

経済産業省
「成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド」
<http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8618025/www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/intern/guidebook-all.pdf>



コーディネーター活用のススメ

「自社だけでインターンシップを進めるのは難しい！」

「どうすれば学生に関心を持ってもらえるようなインターンシッププログラムが作れるのだろう？」

そんな疑問をお持ちの方は、インターンシップの支援を行っているコーディネート団体へ御相談することをお勧めします。インターンシップの支援を行う団体は、インターンシップ推進協議会、商工会議所、中小企業中央会、地域おこし協力隊、一般社団法人やNPO法人など、地域によって様々です。地域内にどのようなコーディネーターがいらっしゃるのか分からない場合は、チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトのホームページをチェックしたり、自治体へ相談したりしてみましょう。

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト「地域プロデューサー」
<https://www.challenge-community.jp/producer/>



<本リーフレットに関するお問合せ先>

内閣府 地方創生推進室 地方創生インターンシップ担当

【住所】〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎第8号館

【電話】03-6257-1405

【E-mail】intern.sousei.t5s@cao.go.jp